2022年度総会

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会

2022年度JDBA理事会

目次

【重要なお知らせ】

1. 前理事会の怠慢について
2. 訴状について

【議題】

1. 2022年度 事業報告について
2. 2022年度 会計報告について
3. 2023年度 事業計画(案)について
4. 2023年度 会計予算(案)について

重要なお知らせについて

議題

1. 2022年度事業報告について

区分	大会名	実施日	実施場所	総額
競技	第19回全国デフバスケットボール大会 （石川ミミリーグ）	R4.3.4-6	不明 （石川県金沢市）	0円
共通	デフバスケットボール交流会	R4.5.21-22	奈良市立総合福祉センター （奈良県奈良市）	000,000円
共通	第1回デフバスケットボール 男女日本代表選考合宿及び育成合宿	R4.7.1-3	福島県棚倉町総合体育館 （福島県棚倉町）	000,000円
普及	第1回サマーキャンプ	R4.8.20-21	ならはスカイアリーナ （福島県楢葉町）	000,000円
普及	第1回3x3デフバスケットボール大会 （3x3 ENEOS CUP 2022）	R4.10.22	水元総合スポーツセンター （東京都葛飾区）	000,000円
強化	デフバスケットボール 女子日本代表選考合宿	R4.11.5-6	清水ナショナルトレーニングセンター （静岡県清水市）	000,000円
強化	デフバスケットボール 男子日本代表選考合宿	R4.11.11-13	有明アリーナ 他 （東京都江東区）	000,000円
普及	第9回全日本デフバスケットボール選手権大会 （ENEOS CUP 2022）	R4.12.11	横浜ラポール 他 （神奈川県横浜市）	000,000円
広報	HP作成及び更新	通年	全国	000,000円

2. 2022年度会計報告について

2022年度事業活動収入	＋	３，５４１，１４８円
2022年度事業活動支出	△	３，３３９，４５７円
2022年度事業活動合計	＋	２０１，６９１円
2021年度繰越資金	＋	３，６９１，３４９円
2022年度繰越資金	＋	３，８９３，０４０円

2. 2022年度会計報告について

一般会計

収入	受取会費（118人分）	587,500
	受取寄附金	131,985
	受取助成金	1,100,000
	事業収益	1,721,626
	その他収益（利益を含む）	37
	合計（経常収益）	**3,541,148**

支出	普及（競技）事業	690,461
	育成事業	4,000
	強化事業	80,369
	事務事業	1,297,239
	計（経常支出）	**817,905**

前理事会の怠慢により、
ＪＰＣ助成金が貰えなくなりました。
日本代表候補選手やスタッフの
自己負担が大きいです。

強化会計

収入	受取助成金	0
	事業収益	1,428,126
	計	**1,428,126**

支出	男子強化事業	774,347
	女子強化事業	573,410
	管理部門（その他収益）	0
	計	**80,369**

3. 2022年度事業計画(案)について

＜事業実施方針＞

- 組織体制を再構築し、公平性や透明性を確保した組織運営をする。
- 強化、育成、普及の各事業をバランスよく実施する。
- 外部団体との関係の強化に努める。
- 情報保障の体制を整える。
- 事務所及び所轄庁の移転（前年度からの引き継ぎ事項）
- スポーツ団体ガバナンスコード（１３原則）を遵守するため
  コンプライアンス委員会を設置

＜法人事業全体の計画＞

① 強化に関する事業

② 育成に関する事業

③ 普及に関する事業

④ 全国並びに国民に対する広報に関する事業

①強化に関する事業

項目	内容	日時	場所
第３回（男子）	日本代表選考合宿	1月7～8日	横浜商科大学、他
第３回（女子）		2月18～19日	福岡高等聴覚特別支援学校
第４回（男子）		3月11～13日	横浜商科大学、他
第１回（女子）	日本代表強化合宿	4月15～16日	アミティ舞洲障がい者スポーツセンター
第１回（男子）		5月（調整）	横浜商科大学、他
第２回（女子）		6月17～18日	アミティ舞洲障がい者スポーツセンター
第２回（男子）		7月15～16日	大田区総合体育館
第３回（女子）			
第３回（男子）		8月11～13日	東松島市体育館
第４回（女子）			
第４回（男子）		10月（調整）	横浜商科大学（予定）
第５回（女子）		11月（調整）	福岡 or 静岡（予定）
第５回（男子）		12月（調整）	横浜商科大学（予定）
アメリカ視察	国際親善試合	6月（調整）	アメリカ（予定）

②育成に関する事業

1. **育成合宿（年1回）都内特別支援学校予定**

   ※強化合宿にジュニア育成を含む。

1. **各地域の育成指導者検討**

2. **オンラインセミナー（年5回）予定**

3. **育成委員会の審判部設立（担当者：平田苑子さん）**

4. **バスケクリニック実施（U12デフキッズ対象）**

   ※兵庫ミミリーグの声出しバイオーレションを活用

1. **各地域ろうあ協会や関係団体のデフスポーツイベント連携**

2. **情報保障体制の整備**

③普及に関する事業

通称	内容	日時	場所
兵庫ミミリーグ	第20回全国デフバスケットボール大会	3月24～26日	兵庫県立障害者スポーツ交流館
サマーキャンプ 2023	第２回サマーキャンプ	8月18～20日	ならはスカイアリーナ
3x3 ENEOS CUP	第2回 3x3 デフバスケットボール大会	10月27～29日	横浜ラポール
ENEOS CUP 2023	第9回全日本デフバスケットボール選手権	12月（調整）	滋賀地区の体育館

④広報に関する事業

1. **公式ホームページ**：https://jdba.sakura.ne.jp/

   公式ホームページは、昨年度の総会にて新ホームページを検討しますとお伝えしましたが、予算がないことから、現状維持とします。ただし、助成金申請を通せたら、外部発注の新ホームページを制作する予定です。青木康一さん中心にホームページの外観を変更していく予定です。

1. **Facebook**：http://www.facebook.com/deafjapanbasketball
2. **Twitter**：http://twitter.com/#!/_JDBA
3. **Instagram**：https://www.instagram.com/jdba_office/
4. **プロモーション動画作成**

   公式ホームページと同様。助成金申請を通せたら、外部発注の映像制作を行う予定です。

大会イベント【現在】

普及事業（強化事業）

【現在の大会イベント】

- サマーキャンプ
- 強化委員会選考▶アジア選手権（APDSC）▶デフリンピック（ICSD）
- 強化委員会選考▶世界選手権（DIBF）
- 強化委員会選考▶3x3ワールドカップ（DIBF）
- 強化委員会選考▶U21世界選手権（DIBF）
- 全国ろうあ体育大会▶アジア太平洋クラブカップ（DIBF-AP）
- 3x3 ENEOS CUP（オンザコート１）　：なし
- ENEOS CUP（オンザコート１）　：なし
- ミミリーグ（オンザコート２）　：なし

大会イベント【理想】

普及事業（強化事業）

【理想の大会イベント】デフバスケ人口増加によりオンザコート１を廃止する

- **サマーキャンプ▶ユースキャンプ（DIBF）**
- **全国ろうあ体育大会▶アジア選手権（APDSC）▶デフリンピック（ICSD）**
- **強化委員会選考▶世界選手権（DIBF）**
- **育成委員会選考▶U21世界選手権（DIBF）**
- **3x3 ENEOS CUP▶3x3ワールドカップ（DIBF）**
- **ENEOS CUP▶アジア太平洋クラブカップ（DIBF-AP）**
- **ミミリーグ（オンザコート２）：シニアリーグ導入**

※　3人制バスケはアジア選手権（APDSC）とデフリンピック（ICSD）種目未導入

国際親善試合

普及事業（強化事業）

2023年度は、須田強化委員長と三瀬さんがアメリカ視察のため、渡航し、

アメリカのデフバスケ協会を含めて、それぞれの団体と交渉します。

男女アメリカ代表を日本に招待し、

2024年東京ミミリーグの大田区総合体育館にて

国際親善試合も行いたいと存じます。

シニア部を含めて、東京都や全日本ろうあ連盟などの多くの観客を集めて、

日本デフバスケットボール界の注目を浴びるのでしょう。

審判について

育成事業（普及事業）

育成委員会に審判部を設立し、平田苑子さんと廣嶋美子さんが

ＪＤＢＡ公認審判ライセンス資格を持つ方を対象に、

オンラインセミナーを開催する予定です。

また、その資格を上乗せする形になります。

（ＪＤＢＡ主催大会は聴者の審判が行われるの多いため）

ミミリーグにシニアリーグを導入するだけではなく、

将来、デフレフェリー育成の集合研修に取り組みたいと考えております。

ジュニア育成について

育成事業（普及事業）

高校バスケ部は福岡高等聴覚特別支援学校（女子バスケ部）のみ、

ジュニア団体は福岡E-kids、大阪B-BALLY’d、東京Jr.scratchしかありません。

地域ろうあ協会や関係団体主催のデフスポーツイベントに

地域デフバスケチームが積極的にサポートし、指導方法などを学び、

デフの子がバスケを取り巻く環境を作っていきましょう。

アジア太平洋クラブカップについて

公式ホームページにて公開したとおり、

「オンザコート１」のルールを廃止するまで、

アジア太平洋クラブカップの出場権を付与する大会を

全国ろうあ者体育大会にします。

第56回全国ろうあ者体育大会の上位チームは、

男子が優勝の和歌山、準優勝の関東、

女子が優勝の福岡、準優勝の大阪です。

4. 2023年度会計予算(案)について

	項目	金額	備考
収益	受取会費	845,000円	正会員157名、ジュニア20名
	受取寄附金	0円	
	受取国庫補助金	**0円**	JPC助成金未入金
	受取民間助成金	1,000,000円	ENEOS様の協賛金
	事業収益	39,000円	（育成）オンラインセミナー（普及）大会参加費
	その他収益	50,000円	（普及）売店マージン
	計	2,285,000円	

	項目	金額	備考
支出	強化事業（男子）	400,000円	強化会計（貯蓄）から支払
	強化事業（女子）	400,000円	強化会計（貯蓄）から支払
	育成事業	0円	
	普及事業	1,100,000円	
	管理費	1,75,000円	
	計	2,985,000円	**※強化事業が赤字なので、今後のスポンサー資金で充てる**

以上となります。
ありがとうございました。

2023年度JDBA理事一同